

事業名：食育推進事業

給食センター 業務係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実								
施策	01 子どもの可能性を伸ばす教育の充実								
基本事業	03 健康と食育の充実								
開始年度	平成21年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小中学校児童生徒等

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市学校給食食育運営委員会を設置し、今後の食育のあり方、進め方などの基本的な方向性を検討し、小中学校が行う食育の推進に関する活動及び事業に対して必要な指導、援助を行う。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校、家庭、地域が一体となった食育の推進が図られる。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	小中学校児童生徒数	人	10,042	9,722	9,441	9,274
対象指標2						
活動指標1	運営委員会開催数	回	0	3	0	1
活動指標2	運営委員会委員数	人	11	11	11	—
成果指標1	食育推進委員会を設置している小中学校数	校	0	2	2	—
成果指標2						
事業費(A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費(B)		千円	3,210	3,206	1,563	1,565
総事業費(A+B)		千円	3,210	3,206	1,563	1,565

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	栄養教諭が、学校教育課程の中で「食に関する指導」を行う。	人件費のみ

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
食育基本法が制定され、市内の小中学校児童生徒等に食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせることが必要とされた。	
事業を取り巻く環境変化	
食育推進計画の内容が決まるまで一時的に平成23年度は江別市学校給食食育運営委員会を休止状態としていたが、平成24年度に再開し、基本的な方向性を取りまとめた。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い	理由根拠 食育基本法に基づく事業である。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	理由根拠 成長期にある子どもにとって、健全な食生活は健康な心身をはぐくむために欠かせないものであると同時に、将来の食習慣の形成に大きな影響を及ぼすものであることから、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう食育を推進することが重要である。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない	理由根拠 平成25年度は、江別市学校給食食育運営委員会の開催は無かったが、前年度取りまとめられた方向性に基づき、食育の推進に努めた。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし	理由根拠 食育に対する方向性が打ち出され、それに基づいた助言・指導をもとに学校での活動が活発化することで成果は向上していくが、成果を出すには時間がかかると考えられる。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する方法はありますか？	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由根拠 事業費は無い